

平成 19 年度 広報小委員会 議事録

日時： 2007 年 11 月 8 日 (11:45～13:00)

出席者（順不同，敬称略）：

磯部，佐藤，岡安，武若，小林，横木，島谷，森，川崎，有川，荒木，木原

議事メモ作成者： 木原

以下，議題毎に集約.

1. 役割分担の確認

- ・ 各委員は，担当する小委員会等について責任を持って情報の更新を行う.
 - 論文集編集小委員会
 - ◇ 川崎（論文集編集小委員会副委員長）
 - Coastal Engineering Journal 編集小委員会
 - ◇ 森
 - 数値波動水槽研究小委員会
 - ◇ 荒木
 - 沿岸域研究連携推進小委員会
 - ◇ 加藤
 - 津波被害推定および軽減技術研究小委員会
 - ◇ 村上
- ・ 特に，海岸工学論文集データベースの管理・運営については，小林先生から木原が引き継ぎ，coastal.jp へデータベースを移転させる.

2. www.coastal.jp と Wiki の運用

- ・ 海岸工学委員会の web を土木学会 (html 方式) から coasta.jp の Wiki による web へ全面的に移行する.
- ・ web の以降は年内に行う. 委員は各担当ページについて，土木学会のサーバーから移行を行うこと（議事録等も含む）.（担当：有川・森）

3. 海岸工学論文集データベースの移設

- ・ 海岸工学論文集データベースには，今後，英文アブストラクトと序論の両方を掲載する.
- ・ 今年度は小林主体でデータベース構築を実施し，来年度以降は木原が実施する.
- ・ 今年度以降は，出版会社と協議の上，データベースのための元データフォーマットを固定し，データベース更新がルーチンワークとなるように努力する.

- ・ 論文集データベースを新サーバーへ移設する際に、これまでの開発経緯，担当者（小林先生）を web 内に明記する。
 - ・ 海岸工学論文集は近いうちに web 上で見られるようになる。なお，過去の論文には全て ID 番号がつけられている。
4. 津波防災研究（平成 18 年度土木学会重点研究）
- ・ 海岸工学小委員会の成果として津波防災研究成果を web に掲載する。
 - ・ 土木学会報告書や海岸工学論文集に掲載されたものを web に掲載するのは，著作権に問題がないか？この点を土木学会に確認する必要がある。
5. 海岸災害ライブラリー
- ・ 第 30 回海岸工学講演会ではスライドライブラリーを，第 40 回では写真集を発行している。来年は第 55 回となるため，海岸工学委員会の事業として，ライブラリー提供をお願いする。
 - ・ 特に，ご年配の先生方が保持している資料を継承できるようにスタートする。
 - 土木研究所，国総研等
 - ・ 今後，海岸工学論文集に掲載された被災報告を文献抄録としてまとめていくことを検討する。
 - ・ とりまとめ方法
 - タイトル，撮影者といった基本情報を記述するフォーマットを予め決定しておく。
 - 既に写真や資料を整理されている先生方に，所定のフォーマットで作っていただくようにまずお願いし，その後，各先生方に同様のフォーマットで作っていただくようにお願いする。
 - ◇ 国総研の港湾施設研究室は港湾の外郭施設や係留施設の写真を集めていたが，少し前に廃棄して現在保有していない。国総研の港湾施設研究室にどのように資料を出していただけるかを確認する。（担当：有川）
 - 国総研（福濱さん）1 名委員をライブラリー作成のために派遣してもらえよう確認する。（担当：武若）
 - 各組織で持っている情報を各組織で保有し，そこにリンクを張る方式をとるのではなく，土木学会で情報をまとめて保持する。
 - ・ その他
 - 著作権の問題は大丈夫か？
 - 災害の資料をオープンにすることは，管理者にとって不利益な情報を表に出すことになるのではないかと？オープンできる情報と出来ない情報をどのように区分け

するのか？←オープンにした後に、指摘があれば取り下げる等の協議をすれば良い。

6. その他

- ・ 森先生より現在レンタルしているサーバーcoastal.jp に関する説明があり、またサーバー管理にかかわる各役割を肩書き単位で分担し、引き継ぎを速やかに行えるように提案があった、
- ・ 各小委員会の HP を coastal.jp に集約してはどうか？

以上